



4月幼稚園だより

令和7年4月8日
千代田区立番町幼稚園
園長 美越 英宣



(番町幼稚園HP)

ご入園、ご進級おめでとうございます

園長 美越 英宣

春の訪れとともに、桜の花が咲き誇るこの美しい季節に、歴史ある幼稚園の新たな一步を踏み出すことに大きな喜びと責任を感じております。

この度、東京都教育庁指導部から、本園の園長として着任いたしました美越 英宣(みこし ひでのり)と申します。

これまで、中村 千絵前園長が築き上げた園経営方針をしっかりと引き継ぎ、子どもたちが安心して成長できる環境を提供してまいります。

さて、新しい年度の始まりに当たり、子どもたちのご入園・ご進級を心からお祝い申し上げます。

本園の園歌「そらにむかって」の最初の一節には、

♪ そらにむかって ぐんぐんのびる うめのしんめが かがやくように

こころも からだも おおきくそだつ みんなげんきで ♪

とあります。自らぐんぐん伸びようとする子どもたち一人一人が自分らしく輝き、学ぶことの楽しさを感じられるよう、本園の教職員は全力を尽くしてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、園と手を携え、子どもたちの健やかな成長を支えていただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

番町幼稚園の教育目標

子どもが「あそびたい ためしたい いっしょにやりたい」との思いが実現できるよう、次の教育目標を掲げています。

○考える子 主体的に生活や遊びを楽しむ子ども

子どもの学びは遊びの中で育まれます。遊びを楽しむ中で、自分で目的を見付け、考え、工夫していきます。また、園の自然と触れ合う中で、たくさんの不思議と出会い、「なんてだろう」と考えるようになります。

○思いやる子 自分も相手も大切にできる子ども

自分の大切さを実感し、自分がかげがえのない存在であることが分かってこそ、他の人を大切にできるようになります。幼児期は、「自分とは違う相手の存在に気付く」時期です。遊びを通して、自分と友達の考えが違うことを知り、理解し、尊重できる、自分も相手も大切にできる力を育みます。

○やりぬく子 最後まであきらめずにやり遂げる子ども

成功体験も失敗体験もどちらも経験する中で、子どもは、自己肯定感を高め、「やりたい」という意欲をもてるようになっていきます。うまくいっても、いかになくても、その過程において充実感を味わうことにより、「やりたい」という強い気持ちを持ち、目的に向かって最後まで頑張る力を育みます。



園の植物たちや遊具も子どもたちをお待ちしておりました